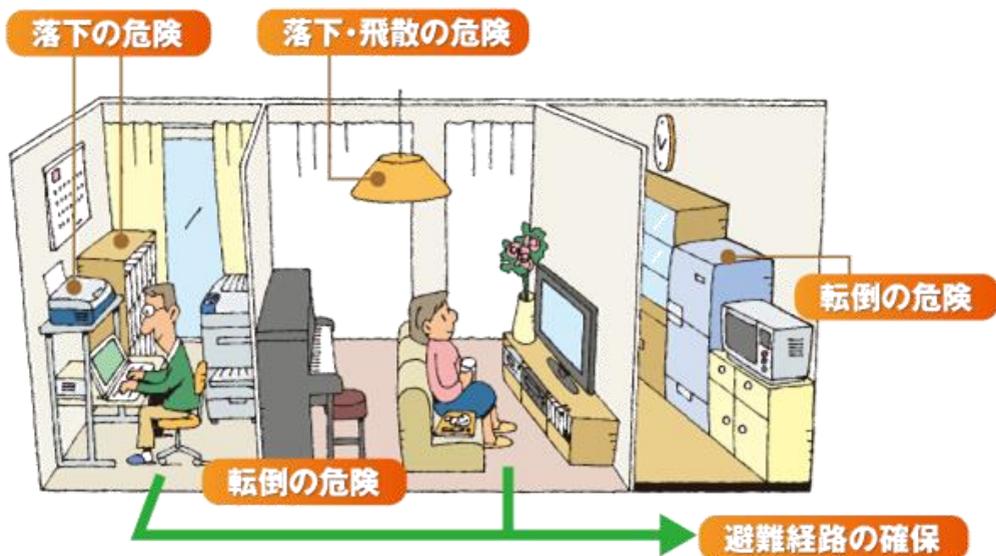


室内の備え



地震負傷者の 30～50%は家具類の転倒・落下・移動

近年の地震による負傷者の 30～50%は、家具類の転倒・落下・移動が原因です。

部屋に物を置かないことが最大の防御。次に下敷きにならないように家具類を配置する。その上で器具による家具類の転倒・落下・移動防止対策を行えば、ケガのリスクを低くすることができます。



なるべく部屋に物を置かない

納戸やクローゼット、据え付け収納家具に収納するなど、できるだけ生活空間に家具類を多く置かないようにします。緊急地震速報を聞いたとき、すぐに物を置いていない空間に避難すれば安全です。



避難経路確保のレイアウト

ドアや避難経路をふさがないように、家具配置のレイアウトを工夫しましょう。部屋の出入り口や廊下には家具類を置かないように、据え付けの戸棚に収納。さらに引き出しの飛び出しに注意し、置く方向を考えます。



火災などの二次災害を防ぐ

家具類がストーブに転倒・落下・移動すると、火災などの二次災害を引き起こす危険があります。また、発火のおそれがある家具・家電も転倒・落下・移動防止対策が必須です。

転倒・落下・移動防止対策のポイント



転倒・落下・移動防止対策はネジ止めが基本

家具類のレイアウトを工夫したら、器具による家具類の転倒・落下・移動防止対策を行います。最も確実な方法は、壁にし型金具でネジ止めすることです。

ネジ止めが難しい場合は、突っ張り棒とストッパー式、突っ張り棒と粘着マットを組み合わせると効果が高くなります。

キャスター付き家具はロック

日常的に動かして使う場合、移動時以外はキャスターをロックし、定位置がある場合は壁や床に着脱式ベルトなどでつなげます。普段動かさない物は下皿や、ポール式器具などを設置し、固定します。



テーブル・イスの滑り止め

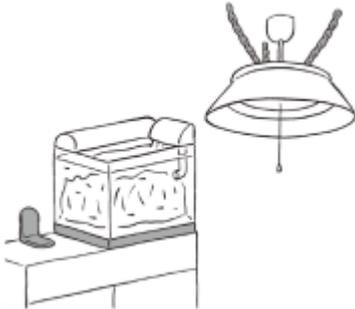
壁面に接して置いていない背の低い家具類の中でも、特にテーブルやイスは移動防止対策が必須。粘着マット、カーペットの場合は滑り防止マットを設置します。



長周期地震動への対策

長周期地震動は、大きくゆっくりとした揺れが続くのが特徴です。

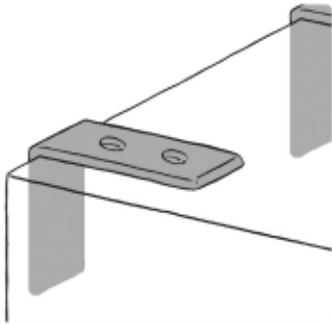
そこで注意が必要なのが、つり下げ式照明、観賞用水槽やウォーターサーバーなど水をためる物。適切な器具で対策を施しましょう。



長周期地震動

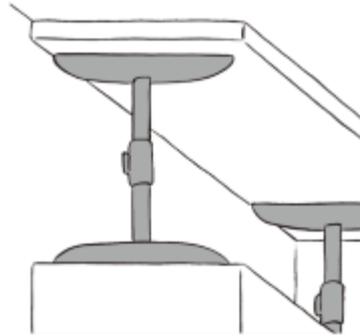
長周期地震動とは、南海トラフ巨大地震のような比較的規模の大きな地震で生じる、ゆっくりとした大きな揺れのことです。長周期地震動は、高層ビルを大きく長く揺らします。高層ビル高層階で特に大きく揺れます。大きく揺れることにより室内の家具などが移動・転倒したり、エレベータの障害が発生することがあります。

転倒・落下・移動防止器具



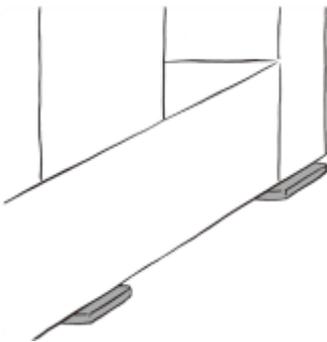
L型金具(下向き取り付け)

家具と壁を木ネジ、ボルトで固定。スライド式、上向き、下向き取り付け式があり、下向き取り付けが最も強度が高い。



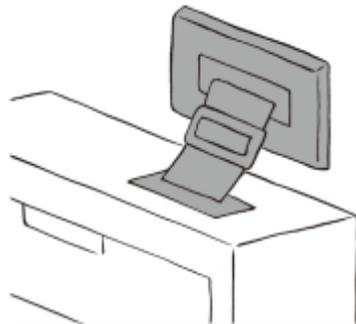
ポール式器具(突っ張り棒)

ネジ止めすることなく、家具と天井の隙間に設置する。粘着マットやストッパーとの組み合わせで強度が高くなる。



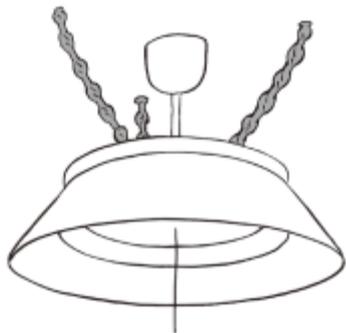
粘着シート(マット式)

粘着性のゲル状で、家具の底面と床面を接着させる。



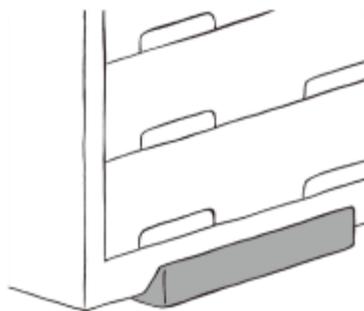
着脱式移動防止ベルト

壁とキャスター付き家具をつなげ、移動を防止する。



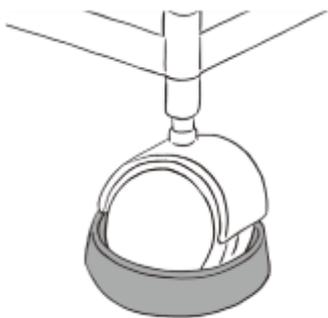
チェーン

つり下げ式照明器具などをチェーンやワイヤーなどで結ぶ。



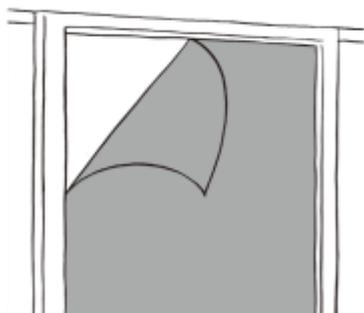
ストッパー式

家具の前下部にくさびを挟み込み、家具を壁際に傾斜させる。



キャスター下皿

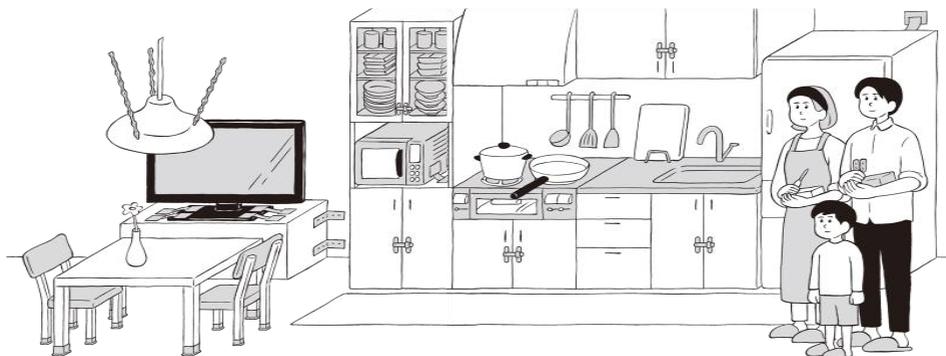
キャスターの下に置き、家具の移動を防止する。



ガラス飛散防止フィルム

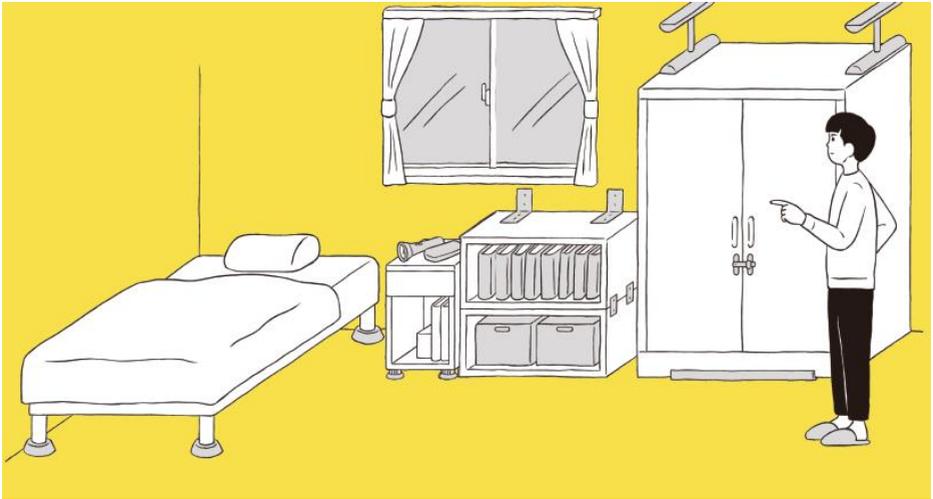
ガラス製の扉、窓などに貼るフィルム。
割れた際の破片飛散を防ぐ。

転倒等防止対策チェック



リビング・キッチン

- つり下げ式照明器具 チェーンで揺れ防止対策を行う。
- テレビ テレビ台に着脱式移動防止ベルトなどで固定。台はL型金具で壁に固定し、脚に粘着マットなどの滑り止めを付ける。
- 電子レンジ 粘着マットやストラップ式の器具で台に固定し、台もL型金具で壁に固定する。
- テーブル・イス 脚に粘着マットなどの滑り止めを付ける。
- 食器棚 転倒しても避難経路をふさがない置き方をし、壁に固定する。ガラスには飛散防止フィルムを貼る。
- 引き出し 飛び出し防止のためにラッチ錠付きを使う。
- つり戸棚 収納物が飛び出さないよう、扉に開放防止器具を付ける。
- 冷蔵庫 避難の障害にならない場所に設置し、ベルト式器具などで壁と結ぶ。上に落下しやすい物をのせない。



寝室

□ベッド

脚に粘着マットなどの滑り止めを付ける。額縁や壁掛け時計などはベッドの近くの壁や天井に取り付けない。

□窓ガラス

飛散防止フィルムを貼る。

□キャスター付き家具

動かさないときはキャスターをロックしてキャスター下皿をかませ、着脱式ベルトで壁につなげる。

□積み重ね式 収納ボックス類

上下を連結金具でつなぎ、L型金具で壁に固定する。上に落下しやすいものをのせない。

□タンス・クローゼット

転倒しても避難経路（ドア）をふさがない置き方をする。L型金具や突っ張り棒で壁や天井に固定し、ストッパー式を敷く。